

伴侶動物学詳論 (2単位)

担当者氏名 大石孝雄・土田あさみ・増田宏司

◆学習・教育目標

人とともに生活する伴侶動物について、そのよりよき共生や活用を図ることは重要である。そこで本科目ではその基礎となるイヌ、ネコの遺伝学・資源学、行動心理学、衛生管理学などの関連分野の知識について、最近の関連研究の進展等科学的検証に基づいた授業を実施し、伴侶動物の行動管理やよりよき共生関係の構築に役立てる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

伴侶動物学 _____ 動物遺伝学 _____ 動物行動心理学 _____ 動物衛生管理学 _____
 動物資源学 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	伴侶動物の遺伝学・資源学(1)	動物のゲノム解析研究	伴侶動物の有する遺伝的特性とその関連研究の進展について理解してもらおう。
2	伴侶動物の遺伝学・資源学(2)	エピジェネティクス研究の進展	
3	伴侶動物の遺伝学・資源学(3)	DNA多型の検出と利用	
4	伴侶動物の遺伝学・資源学(4)	遺伝病研究の進展	
5	伴侶動物の遺伝学・資源学(5)	行動特性の遺伝	
6	伴侶動物の遺伝学・資源学(6)	世界の希少品種の保全	
7	伴侶動物の行動心理学(1)	伴侶動物の行動の特徴	伴侶動物の行動・心理を把握し、しつけや訓練法との関連を理解してもらおう。
8	伴侶動物の行動心理学(2)	伴侶動物の情報伝達手段と学習能力	
9	伴侶動物の行動心理学(3)	イヌの問題行動と治療	
10	伴侶動物の行動心理学(4)	ネコの問題行動と治療	
11	伴侶動物の管理学(1)	イヌ、ネコの飼育技術	衛生的知識等を把握し、伴侶動物の飼育管理技術との関連を理解してもらおう。
12	伴侶動物の管理学(2)	イヌ、ネコの健康管理	
13	伴侶動物の管理学(3)	イヌ、ネコの感染症予防	
14	伴侶動物の管理学(4)	人との共生	
15	授業の総括	授業全体のまとめ	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜資料を配布する。 / / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

バイオセラピー学入門（講談社）ほか、授業の中で提示する

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポートの提出などにより評価する。

◆その他受講上の注意事項